

編集・発行：公益社団法人教育文化協会
 〒101-0062
 東京都千代田区神田駿河台3-2-11 連合会館内
 tel 03-5295-5421 fax 03-5295-5422
 URL <http://www.rengo-ilec.or.jp>
 発行責任者：木村裕士専務理事

通信 No.36

第10回「私の提言—『働くことを軸とする安心社会』の実現にむけて—」

～入賞提言が決まりました～

第10回「私の提言—『働くことを軸とする安心社会』の実現にむけて—」運営委員会（委員長・岡部謙治（公社）教育文化協会理事長）は、9月11日（水）に第2回運営委員会を開催し、応募提言の審査を行いました。当事業は、連合から教育文化協会が受託して取り組んでいるもので、10回目を迎えた今回も「働くことを軸とする安心社会」の実現にむけた「提言」の募集を行いました。

審査の結果、「優秀賞」1編、「佳作賞」1編、「奨励賞」2編の入賞提言を決定しました。「優秀賞」を受賞された寺谷浩司さんには、連合第13回定期大会で表彰を行うとともに、提言の要旨を発表していただきました。

寺谷さんからは、少子高齢化社会ならぬ「多老化社会」を目前にした今日において、シニア層の社会参画問題への対応が急務であるとの課題認識の下、その具体策として「シニアプラットフォーム」という新たな社会参画システムの導入と労働組合の積極的なサポートの必要性が強く訴えられました。

教育文化協会では、入賞提言4編を掲載した入賞提言集を発行し、会員組織に配布しております。力作揃いの提言を是非ともご一読ください。

<入賞者一覧>

（敬称略）

賞	氏名	所属	提言名
優秀賞	寺谷浩司	連合福岡ユニオン 執行委員 Marble-Lab代表 [フリーランス]	シニア層の社会参画問題と労働組合の新たな役割 —セカンドライフの助走路としての準公共的コミュニティ装置—
佳作賞	湯田厚子	UAゼンセン イオングループ労連 事務局次長	ダイバーシティの必要性 ～想いを一つに一步踏み出そう～
奨励賞	角谷 博	情報労連 NTT労働組合 組合員	非正規雇用労働者の処遇改善に向けた提言 ～正規雇用労働者と労働組合への期待を中心に～
	黒野将大	一橋大学社会学部2年生 連合寄付講座受講生	「月500円のブラック企業保険」の可能性 ～中小・非正規労働者の組織化の方策～



連合第13回定期大会で表彰を受ける
寺谷浩司さん



力強く提言要旨を発表

第8回連合・ILEC幸せさがし文化展—働く仲間とその家族の公募展—

～入賞者・入賞作品が決定～

「連合・ILEC幸せさがし文化展」は、働く仲間とその家族の文化活動の支援を目的に、絵画・写真・書道・俳句・川柳の5部門の公募展として開催しています。

第8回文化展は、連合大賞、ILEC大賞、秀作、佳作、入選、特別審査員賞に加え、より多くの皆さんにご応募いただこうと、80歳以上の方を対象としたシニア特別賞、15歳以下の方を対象としたジュニア特別賞を、各部門に新設しました。その結果、絵画の部に116点、写真の部に409点、書道の部に191点、俳句の部に930点、川柳の部に1662点と前回は上回る応募をいただきました。

厳正な審査の末、各部門の入賞者を決定し、10月4日の連合第13回定期大会で入賞者を表彰するとともに、同会場ロビーで入賞作品の展覧会を開催しました。

11月1日～7日には、全労済ホール／スペース・ゼロを会場に同作品の展覧会を開催します。皆さまのご来場をお待ちしております。

主な入賞作品と入賞者は以下のとおりです。(全入賞作品は、ILECホームページでご覧いただけます。)

(敬称略)

連合大賞・ILEC大賞・シニア特別賞・ジュニア特別賞 入賞者・入賞作品			
絵画の部			
○連合大賞 「競漕」	木村 典峰	基幹労連	
○ILEC大賞 「結婚37年目」	杉浦 寿宣	京都府	
○シニア特別賞 「石灰工場」	高島 瑞夫	東京都	
○ジュニア特別賞 「カマキリを見つけた私」	坂部 有香	徳島県	
写真の部			
○連合大賞 「何か見つかった？」	丹羽 賢一	宮城県	
○ILEC大賞 「じっとしててね」	飯田 能之	神奈川県	
○シニア特別賞 「がんばって！」	宮沢 安夫	長野県	
○ジュニア特別賞 「弟の運動会」	小柳 珊悟	東京都	
書道の部			
○連合大賞 「木簡」	石川 繭	香川県	
○ILEC大賞 「九成宮醜泉銘臨書(紺紙金泥)」	森下 桂石	退職者連合	
○シニア特別賞 「五言律詩(李白)」	沖田 静泉	自動車総連	
○ジュニア特別賞 「希望の道」	酒井 優花	宮崎県	
俳句の部			
○連合大賞 「三陸に汽笛ふたたび初桜」	大川 千草	東京都	
○ILEC大賞 「若い娘の唇に入るさくらんぼ」	田辺 義樹	山梨県	
○シニア特別賞 「おはやうの響き春闘妥結せり」	大貫 茂治	東京都	
○ジュニア特別賞 「ありんこやゾウのシッポへむかってく」	長峯璃ノ葉	東京都	
川柳の部			
○連合大賞 「フクシマと繋がっていた炊飯器」	秋山 了三	神奈川県	
○ILEC大賞 「繋がれたチューブに感謝する命」	笠原八重子	UAゼンセン	
○シニア特別賞 「今ここで旗を振らねば風が哭く」	加差野静浪	JP労組	
○ジュニア特別賞 「青空になりきりながら旗上げる」	長峯鼓太郎	東京都	



連合第13回定期大会表彰式



東京国際フォーラム展覧会場



入賞作品集

頒布価格1000円(税込)+送料80円

Rengoアカデミー第12回マスターコース修了式を開催

2012年11月に開講したRengoアカデミー第12回マスターコースの受講生21名が全員そろって修了しました。

9月25日（水）に連合会館で開催した修了式では、岡部謙治理事長による主催者挨拶の後、古賀伸明Rengoアカデミー校長より修了生一人ひとりに修了証が手渡されました。修了式とその後の懇談会には、ゼミナールでご指導いただいた先生方、修了生の出身組織代表者にもご出席いただきました。修了生のみなさんの今後のご活躍を祈念いたします。あわせて、受講生を送り出していただいた各組織のご協力に感謝申し上げます。



修了論文集はすでに会員組織に配布しておりますが、ホームページにて論文概要をご覧いただくこともできます。なお、11月24日より第13回マスターコースが開講いたします。各組織におかれましては、引き続きのご支援をよろしくお願いいたします。

第12回修了生および修了論文のテーマ

ゼミ	修了生	論文のテーマ
毛塚	浅井 哲哉（連合愛知）	企業再編と労働組合の役割
	鈴木 るり（連合本部）	ジェンダー平等とILO 100号条約
	本間 隆一（生保労連）	高齢者雇用安定法改正に伴う労働組合としての取組み課題
	松尾 恭子（運輸労連）	女性の選択に中立的な税法・社会保障制度の確立を
高木	青木 洋穂（日教組）	学校の多忙化解消こそが組織拡大のカギ
	妹背 匡哉（全労済）	なぜ労働組合は“顧客満足”に翻弄されるのか
	橋本 裕信（連合本部）	労働を軸とする真のデフレ脱却への道筋 — 労働運動を通じたボトムアップ型課題解決のあり方に関する考察 —
	本多 信介（労金協会）	有期労働の諸相と今日的課題 — 労働運動が果たすべき役割 —
田端	川尻 聡（印刷労連）	印刷産業の構造改革期における成果主義の検証 — 印刷産業界でのあるべき成果主義について —
	小水内長功（運輸労連）	トラック運輸労働者の労働条件向上に向けて — 魅力ある産業に向けた労働組合の役割 —
	富田 竜二（UAゼンセン）	「不当労働行為救済制度と現実の労使関係」 — 救済命令の有効性と限界 —
	島山 薫（電力総連）	労働組合における男女平等参画実現に向けて — あらゆる分野における固定的役割分担意識の解消 —
中村	池嶋晋一郎（JAM）	中小企業賃金論 — 制度の中身と運用実態の比較 —
	大久保 忍（運輸労連）	長時間労働を是正するために — 労働組合が果たす役割 —
	古賀 真也（情報労連）	労働組合役員に何が求められているのか — 職場の実態と組合員の声 —
	佐藤 正（自動車総連）	会社施策における労働組合の参画 — 設備移管・人事異動の労働組合の対応 —
	中條 貴仁（自治労）	自治体における臨時・非常勤職員の処遇改善に向けて
橋元	落合 啓友（自動車総連）	組合員の一体感醸成に向け、組合は何をすべきか — A労組の組合活動のテコ入れ —
	小山田 繁（情報労連）	成熟社会における「働き方と雇用」 — 無期雇用化とキャリア形成の充実による、「民間最終消費支出」の拡大 —
	嵯峨 友成（印刷労連）	いかに職場を活性化すべきか
	弓場 孝紀（電機連合）	半導体産業の事業構造改革において労働組合が担った役割 — X社の事例 —

「**連合寄付講座**」を2大学で開講中 ～法政大学と埼玉大学で～

9月17日（火）より、法政大学キャリアデザイン学部において、連合寄付講座を新たに開設しました。

第1回目の講義では、佐藤厚法政大学キャリアデザイン学部教授から、「労働組合とは何か」をテーマに、労働組合の必要性や日本の労働組合の特徴、労働組合の課題などについて、オリエンテーションという形で説明が行われるとともに、今後の講義でゲストスピーカーの方々からお話しいただく概略について紹介がありました。

翌週には、教育文化協会の岡部理事長より、連合寄付講座をつうじて法政大学の学生の皆さんに学んでいただきたい点について、ご自身の社会人・労働組合役員経験を交えて講義しています。

9月30日（月）からは、埼玉大学経済学部においても連合寄付講座を開講しています。埼玉大学では、2007年より講座を開講しており、今年で7年目を迎えます。これまでの経験を踏まえたプログラム作成、運営の充実に努め、講座のさらなる発展につなげていきたいと考えています。

連合寄付講座は、連合、連合構成組織、地方連合会のご協力なしには企画・運営できないものです。関係各位のご理解とご協力に感謝申し上げますとともに、今後とも引き続きのご支援をお願いいたします。

なお、連合寄付講座は聴講ができます。講義の聴講を希望される方は、ILECホームページよりお申し込み下さい。また、過去の講義録についてもホームページでご覧いただけます。



2013年度 法政大学 秋学期「**連合寄付講座：働くということと労働組合**」プログラム

回	日程	講義テーマ	ゲストスピーカー
1	9/17	【オリエンテーション】講義：労働組合とは何か	佐藤 厚 法政大学キャリアデザイン学部教授
2	9/24	【開講の辞】連合寄付講座で法政大学の皆さんに学んでほしいこと 【課題提起①】「働くということ」をどう捉えるか～労働組合がめざす社会像とは～	岡部謙治 教育文化協会理事長
3	10/1	【課題提起②】いま働く現場で何が起きているのか ～労働相談からみた若者雇用の現状～	寺田 弘 連合非正規労働センター総局長
4	10/8	【ケーススタディ①】“まともな”働き方のためのワークルール確立の取組み ～長時間労働の是正、労働時間短縮を中心に～	松田康子 情報労連中央執行委員
5	10/15	【ケーススタディ②】安心して働き続けるための「ハラスメント」撲滅に向けた取組み（パワハラ・セクハラなど）	半沢美幸 電機連合中央執行委員
6	10/22	【ケーススタディ③】雇用と生活を守る取組み～産業空洞化への対応を中心に～	相原康伸 自動車総連会長
7	10/29	【ケーススタディ④】男女がともに働きやすい職場づくりに向けた取組み（ワーク・ライフ・バランス、両立支援、男女平等参画など）	早川順治 生保労連中央書記長
8	11/5	【ケーススタディ⑤】公正・公平な処遇とキャリア形成に向けた取組み（賃金制度、昇進昇格など）	篠原正人 武田薬品労働組合執行委員長
9	11/12	【ケーススタディ⑥】非正規社員の組合加入と処遇改善に向けた取組み	松谷和重 フード連合会長
10	11/19	【ケーススタディ⑦】公務労働の現状と公共サービスの役割	高柳英喜 自治労企画局長
11	11/26	【課題への対応①】ワーク・ライフ・バランスの実現に向けて ～いま、求められる働き方～	高橋睦子 連合副事務局長
12	12/3	【課題への対応②】グローバル時代における働き方の課題と労働組合の対応	新妻健治 イオングループ労連会長
13	12/10	「働くということ」と労働組合（ケーススタディの振り返り、それぞれの課題と労働組合の役割の再確認、グループワーク含む）	高木郁朗 日本女子大学名誉教授
14	12/17	グループディスカッションによる論点整理と重要な論点の確認（パネルディスカッションに向けて）	法政大学教員
15	12/24	【修了シンポジウム】「働くことを軸とする安心社会」の実現に向けて	神津里季生 連合事務局長 法政大学 学生（2～3名程度） ＜コーディネーター＞法政大学教員

※講義時間は、火曜日 15:10-16:40

2013年度 埼玉大学 後期「連合寄付講座：働くということと労働組合」プログラム

回	日程	講義テーマ	ゲストスピーカー
1	9/30	【開講の辞】連合寄付講座において埼玉大生に学んで欲しいこと 【課題提起】「働くということ」をどう捉えるかー労働組合がめざす社会像とは	岡部謙治 教育文化協会理事長
2	10/7	今、働く場で何が起きているのかー労働相談からみた職場の現状	田島恵一 連合中央アドバイザー
3	10/14	【仲間をつくる①】労働組合をつくる	相原秀輝 アルプス技研労働組合 執行委員長
4	10/21	【仲間をつくる②】非正規労働者の組合加入をすすめる	白神直大 日本ハムユニオン中央 副執行委員長
5	10/28	【よりよい職場をつくる①】公正な賃金・処遇制度を確立する	岡本賢治 帝国ホテル労働組合中央 執行委員長
6	11/11	【よりよい職場をつくる②】労働時間を短縮する	才木誠吾 情報労連中央執行委員
7	11/18	【よりよい職場をつくる③】働き方を見直す	柳橋隆則 東京海上日動労組執行 委員長
8	11/25	【仲間を守りつなぐ①】ハラスメントをなくす	西田一美 自治労前総合企画総務 局長
9	12/2	【仲間を守りつなぐ②】雇用と生活を守る	佐藤道明 連合埼玉事務局長
10	12/9	【仲間を守りつなぐ③】グローバル時代に対応する	郷野晶子 U A ゼンセン常任中央 執行委員
11	12/16	働く人々の生活と労働組合	高木郁朗 日本女子大学名誉教授
12	1/6	若年者雇用にかかわる課題とその対応	村上陽子 連合非正規労働セン ター総合局長
13	1/20	男女平等参画社会の実現に向けて	高橋睦子 連合副事務局長
14	1/27	教員によるまとめ	禹 宗 杭 埼玉大学経済学部教授
15	2/3	【修了講義】「働くということと労働組合」	古賀伸明 連合会長

※講義時間は、月曜日 16:20~17:50

「連合寄付講座」Q&A

Q1：そもそも「連合寄付講座」は何を目的に開設しているの？

A1：これから社会に出ていく学生に、労働組合の存在やその役割、さらには労働運動の意義などについて正しい理解をしてもらいたいとの思いから開設している講座です。各大学で「単位認定科目」との位置付けで開設し、講座全般の企画・運営に労働組合が主体的にかかわるといふ点で他に例を見ない講座であると言えます。

Q2：これまでにどこの大学でどの位の学生がこの講座を聴いているの？

A2：現在、教育文化協会が主体的に運営している講座は、本紙面で紹介している埼玉大学、法政大学に加え同志社大学、一橋大学の4大学です。初めて開設した日本女子大学（2005年4月～2008年3月）を含め、これまでに計5大学で開設しており、受講者数はのべ5000名強に上ります。また、地方連合会が主体的に運営する「地方版連合寄付講座」の開設も着実に広がりを見せています。（詳細は次ページを参照ください）

Q3：実際に、講座を聴いた受講生の反応としてどういったものがあるの？

A3：連合や連合構成組織、地方連合会のご協力を得て、現場の第一線で活躍する労働組合役員から学生に直接語りかけることで、労働組合や労働運動などに対する正しい理解が醸成されているものと受け止めています。それは、受講生からのアンケート結果にも表れており、「労働組合の活動や必要性が理解できた」「労働組合に対する“マイナスのイメージ”が払拭された」「労働組合のある会社に就職したい」「労働組合についてもっと知りたい」などといった回答が数多く寄せられています。

地方版 「連合寄付講座」

山形大学、佐賀大学に続き、今秋 福井県立大学、三重大学で新規開設

地方連合会においても連合寄付講座の新規開設が相次いでいます。昨年、地方初の開設となった山形大学（連合山形主催）、佐賀大学（連合佐賀主催）に続き、2013年度後期からは、新たに連合福井が福井県立大学経済学部で、連合三重が三重大学人文学部でそれぞれ寄付講座を開設しました。これにより、地方連合会による連合寄付講座は計4大学となりました。



▲山形大学での2012年度講義風景

いずれも10月から来年2月まで、労働運動の第一線で活躍する連合役員が、各県の労働事情を踏まえながら講義を行います。

現在、地元開設を検討している地方連合会から続々と問い合わせを頂いており、ILECではさらに全国に広がるよう支援協力していきたいと考えています。

福井県立大学

講義時間：水曜日16:20～17:50

福井県立大学での寄付講座は、広く一般の方々にも「働くことと労働組合」について学んで頂くことができる公開講座（オープンカレッジ）としてスタートしました。

回	日程	講義テーマ	ゲストスピーカー
1	10/2	【開講】「働くこと」をどう捉えるか～労働組合がめざす社会像とは～	岡部謙治 教育文化協会理事長
2	10/9	労働組合の基礎知識	山岸克司 連合福井会長
3	10/16	働く現場で何が起きているか～労働委員会や労働審判の事例と解決へのアプローチ～	牧野恭英 連合福井副会長・福井県労働委員会労働側委員
4	10/23	働くうえで知っておきたいワークルール	新谷信幸 連合総合労働局長
5	10/30	【よりよい職場をつくる①】公正な賃金・処遇制度の確立	矢野義和 連合福井副会長・最賃対策委員会委員長
6	11/13	【よりよい職場をつくる②】男女がともに働きやすい職場づくり	峯森大輔 連合福井副会長・男女平等委員会委員長 原由起子 連合福井執行委員・女性委員会委員長
7	11/20	【よりよい職場をつくる③】総実労働時間の短縮	山崎高明 連合福井副会長・中小共闘センター委員長
8	11/27	【よりよい職場をつくる④】公務労働の現状と公共サービスの役割	見世重毅 連合福井副会長・自治労福井県本部執行委員長
9	12/4	非正規労働者の組合加入と労働組合づくりの促進	小林宣之 連合福井副会長・組織財政総務委員会委員長
10	12/11	【地域事例①】地域における雇用と生活を守る労働組合の取り組み	横山龍寛 連合福井事務局長
11	12/18	【地域事例②】すべての労働者が安心して働き、暮らせる社会をめざす取り組み	中谷忠裕 連合福井政治政策委員会副委員長
12	1/8	【パネルディスカッション】企業と労働組合の関係を考える	加藤 敦 アイシン・エイ・ダブリュ工業(株)人事担当取締役 吉田啓三 連合福井副会長・アイシン・エイ・ダブリュ工業(株)労組委員長 山岸克司 連合福井会長
13	1/15	【閉講(まとめ)】連合がめざす社会の姿と政策制度の取り組み	神津里季生 連合事務局長
14	1/22	論点整理	福井県立大学教員
15	2/5		

三重大学

講義時間：月曜日10:30～12:00

三重大学での寄付講座開設は、昨年9月に連合三重が開催した“「働くことを軸とする安心社会」タウンミーティングinみえ”で内田三重大学学長と土森連合三重会長、古賀連合会長が懇談したのを機に実現しました。

10月7日の開講日には、岡部教育文化協会理事長が自らの体験を踏まえながら講義を行い、人文学部から医学部までの1年生を中心に約55名の学生が真剣に耳を傾けました。

なお、三重大学のプログラムの特徴は以下の通りです。

- 講義内容を整理するため、ディスカッションの機会を多く設定。うち2回、連合三重役員も参加
- 行政側からもゲストスピーカーを招聘
- 講座まとめとして、古賀連合会長を交えた公開討論会（一般公開予定）を開催



▲学生からの質問に答える岡部理事長(右)と児玉三重大学教授(左)

公益社団法人へ移行後、 初の理事会・総会を開催

教育文化協会は、政府の公益法人改革に伴う移行手続きを完了し、本年7月1日付けで特例民法法人から「公益社団法人教育文化協会」として、あらたなスタートを切りました。

新しい定款に基づき、公益移行後の「第1回理事会」を8月23日に、「第1回定時総会」を9月12日に連合会館で開催しました。理事会・総会では、移行に関する経過報告ののち、特例民法法人として最後の事業報告・決算報告と、公益社団法人として最初の事業計画・予算が提案され、全会一致で確認されました。あわせて、「入会金・会費規程の一部変更」「役員の一部交替」「名誉会員の承認」についても審議・了承されました。また、定時総会に続いて開催した第2回理事会において、2013年度の役員体制が確認されました。

2013年度の事業計画では、公益移行後の初年度にあたって、これまでも一貫して展開してきた「労働運動が有する公益性」を踏まえた事業活動を基本的に継続しつつ、本協会の設立目的に沿って、教育、文化、出版・広報の各事業の着実な実施に努めて参る所存です。

(1) 教育事業

「連合寄付講座」は、昨年度に引き続き開講する、埼玉大学、同志社大学、一橋大学の3大学に加え、本年度後期より、法政大学においても新規開設します。地方版「連合寄付講座」は、昨年度開設された山形大学、佐賀大学に加え、あらたに福井県立大学、三重大学でも開設されます。さらなる新規開設に向けて、未開設の地方ブロックを中心に、連合本部、当該地方ブロック及び地方連合会と連携を図って参ります。

「Rengoアカデミー・第13回マスターコース」は11月24日より開講します。労働運動・社会運動を担うリーダー育成の場として、一層の参加しやすさと受講効果の向上をめざしつつ、引き続きプログラムの効果的編成と効率的な運営に努めます。

「専門講座」は、連合当該局と共催で、「労働法講座」を開催するとともに、連合当該局が実施する、「女性リーダー養成講座」に協賛します。

さらに、労働運動を担う人材の育成に資する「教材」等の作成に向けて、連合と連携を図りつつ、具体的な検討に着手します。

(2) 文化、出版・広報の各事業

「第8回連合・ILEC幸せさがし文化展」は、10月3～4日の連合第13回定期大会で、絵画、写真、書道、俳句、川柳の各部門上位入賞者を表彰するとともに、入賞作品を同大会会場に展示しました。さらに、NHKふれあいホール・ギャラリーと全労済ホール／スペース・ゼロにおいても、展覧会を行います。

「私の提言—『働くことを軸とする安心社会』の実現に向けて—」は、同じく連合第13回定期大会にて、入賞者の表彰と提言要旨の発表を行いました。

出版・広報事業は、教材づくりを含め、教育事業の成果を幅広く活用していただくという視点から、教育事業と一体的に進めて参ります。

※なお、連合をはじめとする会員組織の事情により、10月15日現在、決議の省略（書面決議）方式による臨時理事会、臨時総会での役員を選任手続きをすすめています。



定時総会で議事を進行する神津里季生議長

2013-2014 年度 理事・監事・顧問・相談役 一覧

理事 26名

(2013年9月12日現在、※は新任)

役職名	氏名	所属団体・役職	役職名	氏名	所属団体・役職、職業
理事長	岡部 謙治	教育文化協会 理事長	理事	種岡 成一	電力総連 前会長
副理事長	南雲 弘行	連合 事務局長	理事	永芳 栄始	J E C 連合 会長
専務理事	木村 裕士	連合 副事務局長	理事	山浦 正生	運輸労連 委員長
常任理事	仁平 直美	教育文化協会 常任理事	理事	藤井 一也	私鉄総連 委員長
理事	八野 正一	U A ゼンセン 副会長	理事	江森 孝至	フード連合 前会長
理事	西田 一美	自治労 前総合企画総務局長	理事	山口 浩一	交通労連 委員長
理事	郡司 典好	自動車総連 事務局長	理事	藤澤 洋二	海員組合 組合長
理事	浅沼 弘一	電機連合 書記長	理事	齊藤 憲夫	労金協会 常務理事
理事	藤川 慎一	J A M 副会長	理事	安久津正幸	全労済 前常務執行役員
理事	岡本 泰良	日教組 書記長	理事	久保田泰雄	連合総研 専務理事
理事	澤田 和男	基幹労連 委員長代行	理事	團野 久茂	国際労働財団 専務理事
理事	臼杵 博	J P 労組 前委員長	理事	中村 圭介	東京大学 教授
理事	春木 幸裕	情報労連 書記長	理事	廣瀬真理子	東海大学 教授

監事 3名

役職名	氏名	所属団体・役職	役職名	氏名	所属団体・役職、職業
監事	磯部 行雄	連合 総合総務財政局長	監事	岩田 一喜	公認会計士・税理士
監事	浜田 一郎※	生保労連 委員長			

顧問 3名、相談役 1名

役職名	氏名	協会経歴	役職名	氏名	協会経歴
顧問	西村 寿紀	元 専務理事	顧問	高木 剛	前 Rengo アカデミー 校長
顧問	須藤 安三	元 副理事長	相談役	長谷川一博	前 常任理事

第1回総会にて次の役員が退任しました。在任中ひとかならぬご厚誼を賜り、心より感謝申し上げます。
(前) 監 事 佐藤 正幸 (生保労連・前委員長)

なお、永年にわたり理事・評議員として貢献いただいたご功績により、次の皆様は名誉会員となりました。
高木 郁朗 (日本女子大学 名誉教授) 松田 武彦 (翻訳家)
秦野 幹夫 (毎日新聞社 論説顧問) 若林 正人 (エッセイスト)
堀江 湛 (慶應義塾大学 名誉教授) [敬称略]

第8回労働法講座（基礎コース）開催します



連合雇用法制対策局との共催で「第8回労働法講座（基礎コース）」を開催いたします。

- 日 時：11月7日(木) 13:30～8日(金) 15:30
- 場 所：連合会館3階 連合A B会議室

※すでに募集は締め切らせて頂きました。多数のお申込ありがとうございました。

編集後記

連合寄付講座開講にあわせ、三重大学を訪問しました。ギリギリまで大学側との調整が続き、若干不安を抱えて初回を迎えましたが、蓋を開けてみると、個性あふれる大学教員と明るくエネルギーギッシュな連合三重役員陣が揃い、これは面白い講座になりそうな予感が…。不安は一気に消え、期待で胸がふくらみました。今回は式年遷宮を終えたばかりの伊勢神宮も参拝でき、「実りの秋」を実感できる出張となりました。連合三重の皆様のご尽力に感謝申し上げます。(ぬ)